

(3)-2 関西国際空港の存在・運用に係る環境監視計画の変遷

監視項目	測定・調査項目	調査範囲	調査点 11地点(常時) 10地点(定点)	2期供用開始後(H19.8)～		現行(H30.5末時点)
				調査頻度 常時観測 年1回程度 (当面年1～4回)	実施期間 将来にわたり実施 運用開始3年後まで	
騒音	航空機騒音	大阪湾沿岸地域及び飛行経路周辺地域	数箇所	常時観測 年1回程度 (当面年1～4回)	将来にわたり実施	調査頻度 常時観測 年1回程度 将来にわたり実施
	飛行経路・高度					平成29年度から当面の間
低周波音	航空機の低周波音	大阪湾沿岸地域	数地点	常時測定 運用最大時の3年後まで		運用最大時の3年後まで
大気質象	窒素酸化物(二酸化窒素、一酸化窒素)、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、放化水素(メタン、非メタン)、風向・風速、二酸化硫黄	空港島対岸部	1地点	常時測定 運用最大時の3年後まで		
			2地点			
水質	透明度 水温、塩分、pH、DO、COD、T-N、T-P、フクロワカ、SS	空港島周辺海域	4点			
		内部水面海域	3点			
底質	泥温、強熱減量、粒度組成、pH、COD、燻化物、T-N、T-P	空港島周辺海域	4点	年2回 (夏季、冬季)		
		内部水面海域	3点	年4回(四季)		
海域生物	植物プランクトン 動物プランクトン	内部水面海域	2点			
		空港島周辺海域	4点			
陸生動物(鳥類)	底生生物 漁業生物 鳥類の飛来・生息 タカ類の渡り	内部水面海域	3点			
		空港島周辺海域	4点			
陸生動物(鳥類)	鳥類の飛来・生息 タカ類の渡り	1期及び2期空港島内	定点及び調査ライン	年3回 (春季、夏季、秋季) 3年ごとに月1回		
		空港島周辺海域	調査ライン	3年ごとに年4回		
		タカ類の渡りのルート	1点	3年ごとに年1回		航空機年間離着陸回数が増加(20万回程度)など、または、タカ類の渡りに関する諸情報等により、調査が必要と判断された段階で再開